

# CeFILインターンシップアンケート(企業回答)集計結果

2010年11月4日 CeFIL

◆対象学生:69名/70件 <筑波大-34,九州大-19/20,九工大-11,名古屋大/愛媛大/宮崎大/福岡大-各1>

※九州大の1名は2社で実習

◆平均実習日数 : 25.0日 (Min-12日,Max-36日)

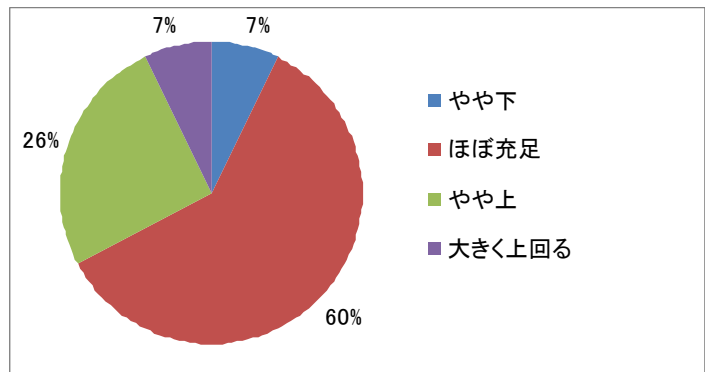
※2009年-22.9日、2008年-24.1日

## 1. 学生に対する評価

(1) スキル充足度 (1:大きく下回る,2:やや下,3:ほぼ充足,4:やや上,5:大きく上回る)

3.3 (2-5名,3-42名,4-18名,5-5名)

※2009年-3.2、2008年-3.8



(2) 事前課題実施状況

事前課題なし-27名,実施不十分-3名,指示どおり実施-35名,指示以上-3名,その他-2名

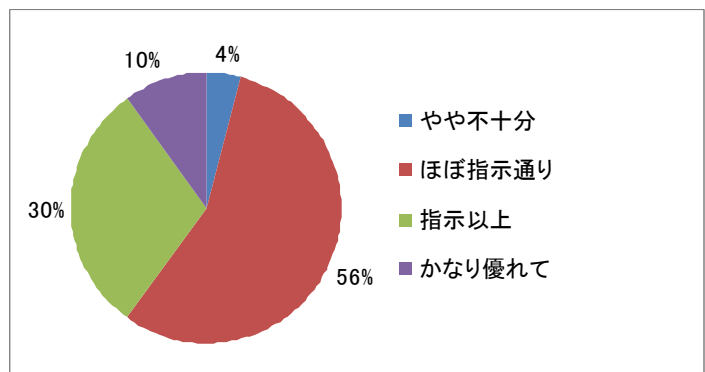
(3) 業務予定状況

ほぼ予定通り-58名,学生能力が予想以上で変更-7名,学生能力が予想以下で変更-1名,  
受入側都合で変更-3名,その他-1名

(4) 業務遂行適切度 (1:不十分,2:やや不十分,3:ほぼ指示通り,4:指示以上,5:かなり優れて)

3.5 (2-3名,3-39名,4-21名,5-7名)

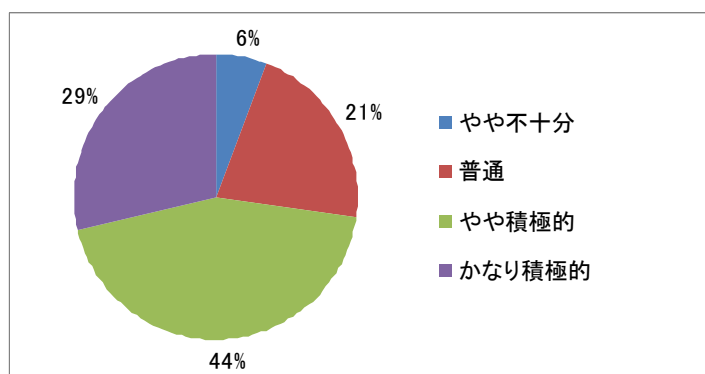
※2009年-3.3、2008年-3.3、2007年-3.7



(5) 積極性 (1:不十分,2:やや不十分,3:普通,4:やや積極的,5:かなり積極的)

4.0 (2-4名,3-15名,4-31名,5-20名)

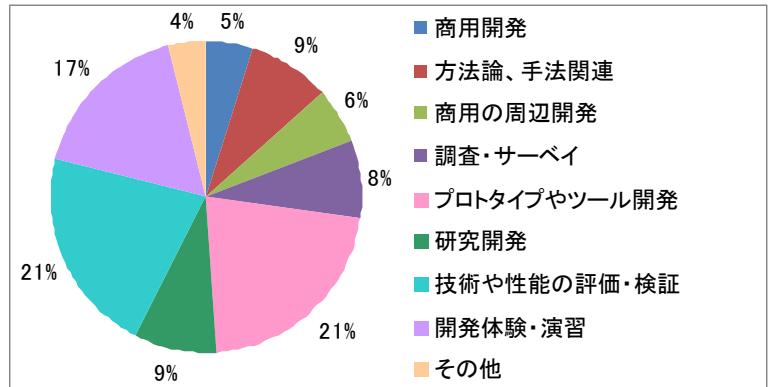
※2009年-3.9、2008年-3.9、2007年-4.0



## 2. 指導内容について

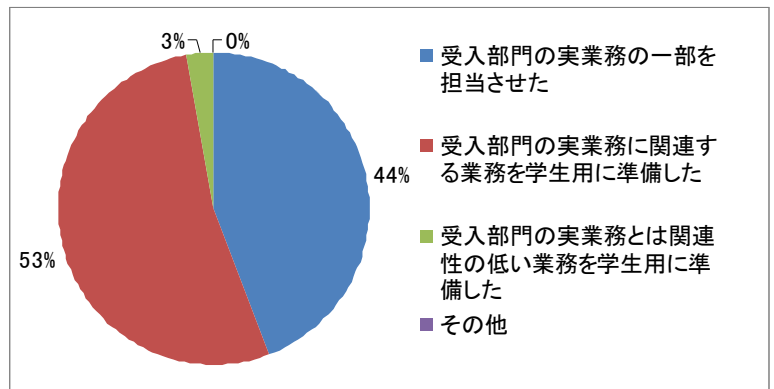
### (1)業務内容（重複回答あり）

・商用開発	7 (5%)
・方法論、手法関連	13 (9%)
・商用の周辺開発	9 (6%)
・調査・サーベイ	12 (8%)
・プロトタイプやツール開発	33 (22%)
・研究開発	13 (9%)
・技術や性能の評価・検証	32 (21%)
・開発体験・演習	26 (17%)
・その他	6 (4%)



### (2)テーマ準備方法

・実業務の一部を担当させた	31 (44%)
・実業務に関連する業務を学生用に準備した	37 (53%)
・実業務とは関連性の低い業務を学生用に準備した	2 (3%)

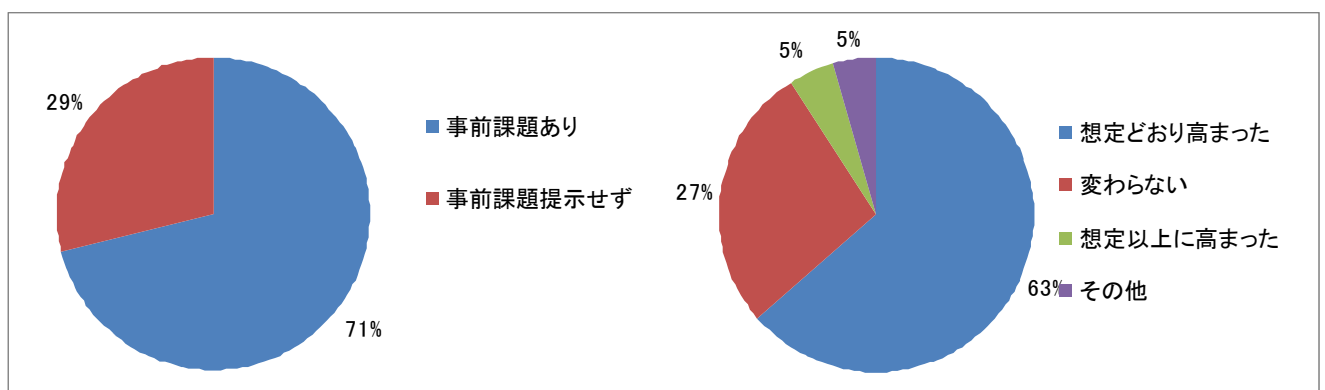


### (3)事前課題の実施効果

・事前課題提示せず	26
・変わらない	12
・想定どおり高まった	28
・想定以上に高まった	2
・その他	2

事前課題提示率 63%

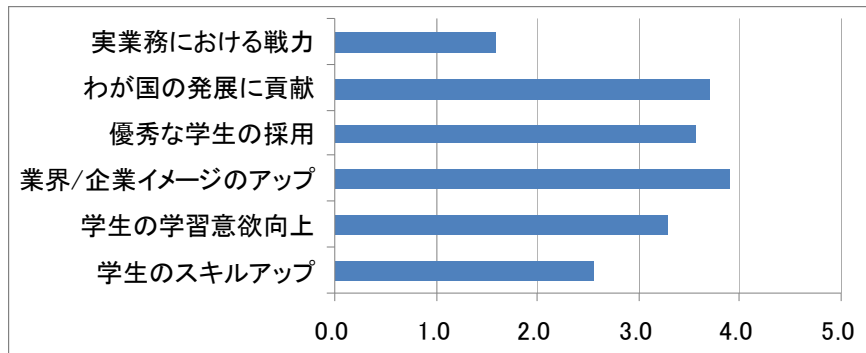
事前課題提示の効果あり 71%



### 3. 運営について

#### (1)受け入れ意義

- ・学生のテクニカルなスキルアップを行うため(大学教育の支援) 2.5 ⑤
- ・学生個人の視野を広げ、学習意欲を向上させるため(大学教育の支援) 3.3 ④
- ・IT関連職の職業イメージを持ってもらうことによる**業界/企業イメージのアップ** 3.9 ①
- ・インターンシップを通じて優秀な学生の**採用に結び付けていく**ため 3.6 ③
- ・経団連/CeFIL活動の趣旨に賛同し、会社/業界として、広く**わが国の発展に貢献**するため 3.7 ②
- ・実業務における戦力として 1.6 ⑥

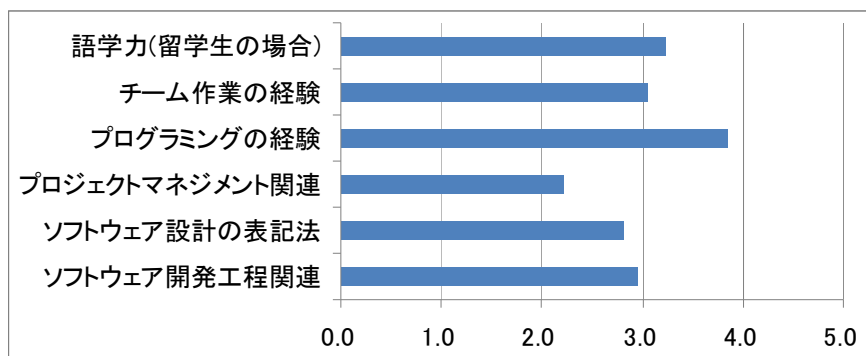


#### (2)来年の受け入れ意向

- ・テーマ提供予定なし 2部門
- ・減少 4部門
- ・今年度と同規模 41部門
- ・増加 0
- ・その他 7部門

#### (3)学生受け入れ基準の優先度

- ・**ソフトウェア開発工程関連の知識**(用語,アクティビティの内容,生産物) 2.9 ③
- ・ソフトウェア設計の表記法(UMLなど) 関連の知識/使用経験 2.8 ④
- ・プロジェクトマネジメント関連の知識(用語,アクティビティの内容) 2.2 ⑤
- ・**プログラミング言語(Java, C, C++等) の知識と作成経験**(ex.1000ステップ程度) 3.8 ①
- ・**チーム作業の経験** 3.1 ②
- ・語学力(留学生の場合) 3.2



## 4. ご意見

### 【運営面】

#### <改善指摘>

##### (全体プロセス、スケジュール、進行状況が見えにくい)

- 職場からテーマを提示後の学生CeFIL側の動きが見えず予定が立てづらい。(応募があったのかどうか、受け入れる場合何月何日から学生が来るのか)
- 事前課題の設定や事前の学生とのコンタクトについて、運用方法がはっきりしていないため、学生配属までに何をすべきかが受け入れ側で判断しにくかった。このあたりは、CeFIL/大学/企業でコンセンサスを取りシステム化してほしい。
- 当部門として初めて受け入れたが、全体の流れと提出物、提出先が分からず、苦勞した。事前に全体の流れを教えて貰えると助かります。
- 研修者の行事/出張予定や発表会等の通知が遅かった、予定でも良いので事前に連絡して頂きたい。
- CeFILからのエントリーと九経連のリアルPBLからのエントリーでは勤務条件などが異なっていることを、学生、企業双方が十分理解できるよう説明をお願いします(今年度、個別に勤務条件のすり合わせを行う際、双方の認識が違い、確認に手間を要しました)。

##### (事務局の動き、情報提供)

- マッチングインタビュー結果の連絡、応募フォームの送付など、一連のプロセスは、事務局が窓口として一本化してほしい。
- 評価表はインターンシップ終了前に配布してほしい。
- 学生の評価と運営についてのアンケートは記入者が異なるので、フォームを分けて欲しい。その上で、学生の評価表は筑波の学生さんがインターンシップを終了する前に配布してほしい。
- 面接に使えるツールはあらかじめ周知して欲しい(今年度は面接が始まってから突然周知があり、社内の混乱を招いた)。
- 時間外業務が可能かどうか不明であったので扱いを明確にしてほしい。

##### (事前指導)

- 会社での生活に関する一般常識的なものを、派遣前にきっちりと指導していただきたい。
- CeFILの意向は理解するのですが、学生を送り出す大学側の企業に対する希望、期待がよくわかりません。学生と話をしても学生個人の希望で参加しているということで、このような実習が大学側教育から見てどう効果を産んだのかがわかると受け入れ側としても来年度どうしたらよいかの判断材料となります。

##### (実習期間)

- 期間の拡大ができると、現在のような基本的な部分から一步踏み込んだ指導が可能で、学生企業双方に有意義ではないか。
- 5週間で一定の成果を出すにはかなりタイトなスケジュールになり、またできることも限られてしまう。もう少し期間を長くしたい(2カ月とか)。
- プロジェクトの進捗状況が計画段階と異なってくることもあるため、インターンシップを短期間で集中的に実施するのではなく、週の出社数を減らすなどして長期的に実施する方が望ましいと思います。

##### (途中段階での関係者の交流、意識合わせ)

- インターンシップ期間中に、大学、学生、企業の3者によるインターンシップ状況確認ミーティングを開催してほしい。このミーティングを通じて、3者の期待と現実のズレを早めに認識し、必要に応じて軌道修正を行うことで、より実のある成果(成長)に繋がられると考えています。

- ・合同フォーラムに参加しなければ、CeFILや大学関係者と会う機会のないまま終わってしまう。早い時期からCeFIL関係者、できれば大学関係者とも交流できる機会が欲しい。また産学協業や講師などで大学と協調できる機会があるとよりよい。

#### <その他>

- ・インターンシップ中の、学生間の交流(情報交換)は非常に有意義だと思います。
- ・今後もインターンシップ中、学生が参加できるような場を設けて頂ければと考えます。
- ・今年度のインターン受入はスムーズかつ有意義な成果をあげる事が出来たと考えています。
- ・受け入れ側の業務への興味とCeFILの趣旨がうまくマッチするようになっていると高い効果が生み出せると思われます。我々の部門では高い興味をもって臨んでいただけていると思っています。
- ・今年からマッチング面談を実施しましたが、学生、企業共に事前準備、事前確認に十分有意義であったと考えております。

#### 【学生受け入れ基準に関連して】

- ・ITスキルも重要ではありますが、資料や報告書の作成といった基本的なスキルについても強化頂けるとなお良いかと思えます。
- ・基礎的な学力(数学・アルゴリズム)も重視している。
- ・自分の強みと弱み／目標を具体的に明文化できている。
- ・TCP/IPの知識、ルータ/スイッチの動作理解は優先度高(4)。
- ・(留学生の)語学力については、英語が話せれば日本語は必須ではありません。
- ・コミュニケーション能力、自発性 等
- ・通信分野の基礎知識(レイヤ1～レイヤ4程度まで)
- ・学生本人の、具体的な参画目的の明確化
- ・デバッグに対する志向
- ・本テーマの研究開発を行ううえで必要となる知識の習得状況

#### 【受け入れ意義に関連して】

- ・若手社員をメンターにすることで若手社員のスキルアップ効果
- ・インターン生受け入れにて、社内のトレーナ育成と組織活性化
- ・学生の進路選定の一助

#### 【事前課題の実施効果に関連して】

(効果変わらず、不明)

- ・コーディングテクニックが必要な実習をお願いするつもりでしたので、計算機言語の基本スキルの要望のみを提示。今回の学生さんは、特に事前に勉強する必要がなかった。
- ・今回初めての受け入れで、効果については不明。本人スキルもあったので、短期間であったがスムーズに研修をスタートできた
- ・事前の簡単な知識習得の課題であったため、実際の業務(要件定義書をスコアリングすること)自体に大きな影響はなかったと思われまます。
- ・事前課題の達成度が所定のレベルに達していなかったため、効果としては今回は得られなかった。
- ・簡単なレベルの製品結合テストや性能検証、及び、技術動向などの調査だったので、特に効率には関係なかった。
- ・当部で担当する基幹システムのバッチなどはWebなどを見ただけでは推し量れないものが多く、学生個

人で実施する事前課題としては難しかったと思いました。

- ・実際に使用するスクリプト言語、仮想化環境の指定などを行ったので、立ち上がりは多少早くなったと思う。一方、事前課題の範囲が広すぎるとの指摘を学生から受けており、具体的な提示の仕方の必要があるとも感じられた。

#### (効果あり)

- ・必要最低限の開発スキル(UML/OO開発/MFPの基礎等)を事前に提示し、学生も事前にある程度の基礎知識をつけた上でインターンに望んでもらう事ができた。
- ・プログラミングの事前課題を行ったもらったため、PG工程にスムーズに着手することができた。
- ・実際の効果は不確かですが、高まったであろうと予想します。
- ・事前課題として関連する論文をいくつか提示し、自分のスキルに合わせて選択して内容理解するように指示。選択した論文はもっとも簡単なものではあったが、読んでない場合に比べれば立ち上がりを早くする効果はあったと思われる。
- ・弊社の製品名やクラウドコンピューティングなどの技術情報に触れていたため、製品に関する学習がスムーズに進んだ
- ・事前課題で初めてandoridに触れたとの事だったので、インターンシップの迅速な立ち上がりには効果があった。
- ・実質的には本人の素養もあると思われるが、事前課題を十分に実施していたことで立ち上がりが早かったのではないかとと思われる。
- ・インターンシップ開始後にスムーズに作業を実施できた。
- ・あらかじめ予備知識を持っていることにより、本来の業務を早くスタートさせることができる。
- ・事前課題は、インターン遂行に必須なプログラム読解能力であり、これはなくてはならないものでした。
- ・指示通り実施していたため、インターンシップをスムーズに進めることができました。
- ・事前課題を提示したことでスムーズに作業を行ってもらうことが出来た。
- ・無線関連の基礎知識があるので業務理解がはやかった。

#### (その他)

- ・振り返ると、事前課題を用意したほうがよかったように思う。コーディングテクニックが必要な実習をお願いするつもりでしたので、計算機言語の基本スキルの要望のみを提示。今回の学生さんは、特に事前に勉強する必要がなかった。

#### 【その他】

- ・当部門での初めてインターンシップ実施であり、期間が制限された中、学生のスキルを見極めた上で実施できる業務はかなり限られることを実感した。約2カ月の期間は適正なものであり、比較的難易度の高い、かつ、新しい技術に関する業務を実践できた。

以 上